

鬼たちがにぎやかに 踊り歩く

第53回登別地獄まつり

8月27日(土)・28日(日)、登別温泉街で『第53回登別地獄まつり』(市・登別観光協会主催)を開催しました。天候に恵まれた会場には、約6万3千人の市民や観光客が訪れ、来場者は、夏の一大イベントを楽しみました。

今年も、1日目の12時からオープニングセレモニーを実施し、オニッコマーチングバンドの演奏で幕開け。和太鼓の演奏などのステージイベントが行われました。

日が暮れると会場の熱気がさらに高まり、形相を変えながら閻魔王(えんま)が地獄の審判を下しにやってくる『エンマ大王からくり山車』や重さ約1トの赤鬼みこしが練り歩く『鬼みこし暴れ練りこみ』、地獄ばやしに合わせ一緒に楽しく踊りの輪を作る『鬼踊り大群舞』などが行われ、祭りの興奮は最高潮に達しました。

最後には、鬼火の演出も加わった『地獄谷花火大会「爆裂花火」』で2日間の祭りを締めくくり、登別温泉街の熱い熱気が残る中、祭りは幕を閉じました。



▲高さ約6メートルにもなる『エンマ大王からくり山車』



▲鬼の面を着けて『鬼踊り大群舞』に参加する市民や観光客

8/27・28

市の歴史を後世に引き継ぐ

8/24

第1回登別市史編さん委員会

8月24日(水)、市役所で、登別市史編さん委員会委員10人への委嘱状の交付と『第1回登別市史編さん委員会』(市主催)を行いました。

市史の編さんは、昭和60年刊行の『市史ふるさと登別』以来。その間、街並みや地域の暮らしなどが大きく変化していることや貴重な資料を保存し、市民の財産として後世に伝える必要性を受け、着手しました。

第1回登別市史編さん委員会では、委員長の選任や編さん方針案の説明などを行いました。

今後、同委員会は、市制施行50周年を迎える平成32年度の刊行に向け、取り組みを進めます。



▼市からの諮問書を受け取る同委員会の街道重昭委員長

▲豊富な経験や知識をもつ登別市史編さん委員会委員の皆さん



ホストファミリーとの大切な思い出

平成28年度登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流帰国あいさつ

8/25

8月25日(木)、市役所で、『平成28年度登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流団』の帰国あいさつ(市主催)を行いました。

同交流団は、『デンマーク王国のフェアボー・ミッドフュン市』で5日間のホームステイを体験し、ホストファミリーと一緒に過ごした日々の思い出やデンマークで食べた食事の感想などについて話してくれました。

参加生徒の棟方智華(むねかた ともか)さんは、「英語に身振り手振りを合わせるとコミュニケーションがとれ、うれしかったです。料理もおいしかったです」と、派遣交流団での思いを語ってくれました。



▲無事帰国して一回り成長した姿を見せた生徒たち